

## 知床世界自然遺産地域 適正利用・エコツーリズム検討会議

### カムイワッカ部会（第19回）議事録

日時：2023年2月27日（月） 13：30～16：30

場所：斜里町産業会館 大ホール（2階）

#### 議題：

1. 道道知床公園線の供用予定と硫黄山登山道の利用について
2. カムイワッカ湯の滝利活用検討事業の実施計画について
3. マイカー規制/シャトルバスの運行計画について
4. その他事業の予定について
5. 2023年度カムイワッカ地区全体スケジュール
6. その他
  - (1) カムイワッカ部会設置要綱の改正について

#### 配布資料

- |       |                                |
|-------|--------------------------------|
| 資料1   | 道道知床公園線の工事予定について               |
| 資料2-1 | 2023年度カムイワッカ湯の滝 利活用検討事業計画（案）   |
| 資料2-2 | 計画の主な変更内容                      |
| 資料2-3 | 情報発信/webサイト/オンライン予約のイメージ       |
| 資料3   | 2023年度 マイカー規制/シャトルバスの運行計画（案）   |
| 資料4   | 知床ディスタンスキャンペーンの今後の取組みについて      |
| 資料5   | 2023年度カムイワッカ地区の全体スケジュール        |
| 資料6   | カムイワッカ部会設置要綱（改正案）              |
| 参考資料1 | 2023年度の祝休日カレンダーと混雑予測           |
| 参考資料2 | カムイワッカ地区の利用のあり方、将来ビジョンについて（再掲） |
| 参考資料3 | 第18回カムイワッカ部会 議事録               |

## 出席者名簿：

機 関 名	職 名	氏 名
<b>【地域関係団体】</b>		
知床自然保護協会	代表代行	綾野 雄次
斜里山岳会	会長	遠山 和雄
羅臼山岳会		<欠席>
北見地区バス協会（斜里バス株式会社）	代表取締役	下山 誠
株式会社斜里ハイヤー		<欠席>
NPO法人 知床斜里町観光協会	事務局長	新村 武志
知床温泉旅館協同組合		<欠席>
ウトロ自治会	会長	米澤 達三
知床ガイド協議会		<欠席>
一般財団法人 自然公園財団 知床支部	主任	向山 純平
株式会社ユートピア知床		<欠席>
ウトロ地域協議会	事務局	桜井 あけみ
公益財団法人 知床財団	事務局長	高橋 誠司
同 事業部	部長	山本 幸
<b>【関係行政機関】</b>		
国土交通省 北海道開発局 網走開発建設部 技術管理課	上席技術管理専門官	小野 裕二
北海道運輸局 北見運輸支局	首席運輸企画専門官	中野 靖弘
北海道警察 北見方面斜里警察署 地域交通課	交通係長	菅原 翔
<b>【専門家】</b>		
北海道大学大学院 農学研究院	准教授	愛甲 哲也
<b>【事務局】</b>		
環境省 ウトロ自然保護官事務所	首席国立公園保護管理企画官	家入 勝次
同	国立公園利用企画官	井村 大輔
同	国立公園管理官	山田 秋奈
林野庁 北海道森林管理局 知床森林生態系保全センター	所長	小田嶋 聡之
同	一般職員	寺田 崇晃
林野庁 北海道森林管理局 網走南部森林管理署	署長	早川 博則
北海道 オホーツク総合振興局 網走建設管理部 維持管理課	道路管理係長	浅野 洋基
同 網走建設管理部 道路課	主査（道路）	塩見 秀之
同 保健環境部 暮らし・子育て担当	部長	永安 芳江
同 保健環境部 環境生活課 自然環境係	係長	亀崎 学
同 保健環境部 環境生活課 知床分室	主幹（知床遺産）	榎原 匠
斜里町役場 総務部 環境課	課長	結城 みどり
同 総務部 環境課 自然環境係	係長	吉田 貴裕
同 産業部 商工観光課	課長	河井 謙
同 産業部 商工観光課 観光係	係長	岩淵 聖也
<b>【運営補助】</b>		
公益財団法人 知床財団 事業部（公園事業担当）	参事	秋葉 圭太
同 企画総務部 総務係		新藤 薫
同 公園事業係（斜里）		茂木 瑞稀
同		米田 紗衣

【開会あいさつ】

**環境省（井村）**：ただいまより第19回 知床世界自然遺産地域適正利用・エコツーリズム検討会議 カムイワッカ部会（以下、カムイワッカ部会）を開催する。開会に先立ち事務連絡を申し上げる。本会議は公開で開催されている。発言は記録され、後日議事録としてwebサイトで公開される。記録のため、発言の際はマイクを使用し、冒頭に氏名と所属を述べていただきたい。新型コロナウイルス感染対策としてマイクの除菌、休憩時の換気を行う。配布資料の確認は割愛するが、不備等あれば事務局へ申し出ていただきたい。本日は専門家として知床世界自然遺産地域適正利用・エコツーリズム検討会議（以下、エコツーリズム検討会議）の委員である北海道大学の愛甲氏に出席いただいている。開会に先立ち事務局を代表し、ウトロ自然保護官事務所の家入より挨拶申し上げる。

**環境省（家入）**：本日は年度末のご多忙な折、参集いただき感謝申し上げます。カムイワッカ部会は、カムイワッカ湯の滝の利用のあり方およびマイカー規制や交通アクセスについて継続的に協議する場となっている。近年ではカーフリープロジェクトとしてホロベツ地区からの新たなマイカー規制や、カムイワッカ湯の滝の1の滝以奥の再利用にむけた試行事業の取組みも始まり、部会の重要性は一段と高まってきている。第18回カムイワッカ部会において、カムイワッカ湯の滝下部区域は上部区域と同様に落石の危険性があることが示され、来年度は自由利用を取りやめ、リスクを周知した上で限定利用とする方針を説明した。また目的地であるカムイワッカ湯の滝の利用方法が根本的に変更されることからマイカー規制やシャトルバスの運行についても大幅に見直しが必要との認識を共有した。以上のような経緯を踏まえ、本日は来年度事業について提案する。特にカムイワッカ湯の滝の利用方法やマイカー規制については、大幅な変更点があり速やかに広報をする必要があるため、最低限必要となる情報は本日決定したい。忌憚のない意見をお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。

**環境省（井村）**：それでは議事に移る。司会進行は斜里町役場の結城課長にお願いする。

**斜里町（結城）**：本日の会議は2時間半を予定している。スムーズな進行に協力願う。

【議事】

1. 道道知床公園線の供用予定と硫黄山登山道の利用について

資料1について北海道（塩見）が説明

**斜里町（結城）**：事務局からは道道知床公園線の知床五湖ゲート～カムイワッカ間の供用期間を6月1日から10月2日とすることを提案したい。意見等あるか。

一同：意見なく、了承。

## 2. カムイワッカ湯の滝利活用検討事業の実施計画について

資料2-1、2-2について斜里町（河井）が説明

**斜里町（河井）**：資料2-1に一部修正箇所がある。11ページの「受付及びレクチャー」の項目で「事前に Web サイトで予約した利用者には当日知床自然センター内等で予約確認の後、物品（ヘルメット）の貸出を行う」と記載があるが、これは未定である。知床自然センターで受付対応をしない可能性がある。

**斜里町（結城）**：資料2-2「計画の主な変更内容」に従い、順番に確認したい。「1. 事業名の変更」から「4. 対象区域の暫定的位置づけ」まで意見等あるか。

一同：（質疑無し）

**斜里町（結城）**：「4. 対象区域の暫定的位置づけ」の「緩やかなゾーニング」という文言について、愛甲氏から補足等あるか。

**北海道大学（愛甲）**：事務局の提案では対象区域を上下全域に統合し、立入可能者の年齢を引き下げている。緩やかなゾーニングは強制力のあるものではない。これまで上部区域の立入が認められていなかった小学生は事前レクチャーで上部区域の危険性を伝え、下部区域の利用を推奨していくことになるだろう。今後一般に広報する段階で、詳細を決定していく必要がある。

**斜里町（結城）**：「5. 試行事業の目標」から「12. 現地管理体制」まで意見等あるか。

**観光協会（新村）**：当日受付の定員を利用者に周知する予定はあるか。

**斜里町（河井）**：後程説明するが、事前予約枠と当日受付枠それぞれ具体的な人数も併せて周知する予定だ。

**観光協会（新村）**：後程意見を申したい。

**斜里町（結城）**：その他意見等あるか。

**知床財団（高橋）**：今後検討される予約システムの導入により、オンライン上で事前に予約、決済、レクチャー等を行うと理解した。カムイワッカ湯の滝に限らず、知床五湖やフレペの滝等でも手続きの効率化および利用者の利便性を向上させることが必要だと考えており、予約システムの導入には賛成だ。われわれが運営している知床自然センターの

役割を確認したい。Web サイトで事前予約を済ませた利用者は知床自然センターに立ち寄らずにカムイワッカ湯の滝に直行するのか、また当日受付対応は知床自然センターが担う想定か。

**斜里町（河井）**：次の資料2－3に関連して説明したい。

**知床財団（高橋）**：承知した。

**斜里町（結城）**：その他質問等あるか。

一同：（質疑無し）

**斜里町（結城）**：続いて資料2－3を説明願う。

資料2－3について斜里町（河井）が説明

**斜里町（河井）**：先程の知床斜里町観光協会の質問に答えたい。1時間あたりの定員は事前予約25名、当日受付5名、1日あたりの定員は事前予約175名、当日受付35名と設定した。ガイド利用はこれらの人数制限に含まれないが、1日最大10～20名程度の利用者数であると予想されるため、全体への影響はないと見込んでいる。事前予約は前日の定刻に締め切り、当日受付へと引き継ぐ想定だ。事前予約で余った枠は当日受付枠に振り替える等して柔軟に対応し、円滑に運用したい。提示した案は確定事項ではないため、本会議の意見を踏まえて修正したい。役割分担については知床財団と知床斜里町観光協会、斜里町の3者で今後調整するが、事前予約の管理を知床斜里町観光協会、当日受付対応を知床財団に担っていただきたいと考えている。悪天候時の返金対応、予約変更等、解決すべき課題もあるが、予約システム等で対応できないか調整を進めている。

**斜里町（結城）**：知床斜里町観光協会から質疑等あるか。

**観光協会（新村）**：あくまで現段階の提案であると理解した。事前予約では注意事項や必要な装備品等をレクチャーで確認し、利用者はあらかじめ準備をすることができる。一方、当日受付では現地の理解が乏しく、事前準備が不十分な場合も想定され、現場で充分に対応できるか疑問だ。当日受付対応により実績を増やしたい意図は理解できるが、今後新たな体験アクティビティへ転換すると周知するのであれば、事前予約を主軸とする利用方針がよいと考える。

**斜里町（河井）**：すべて事前予約制にすべきということか。

**観光協会（新村）**：当日受付を切り分けて別途対面で対応するのではなく、予約システムに一括し、利用の数時間前まで手続きを可能とすることが望ましいと考える。

**斜里町（河井）**：承知した。利用者との受付トラブルを最小限にすることが重要である。過去の経験に基づき当日受付枠を設定したが、意見を踏まえ今後知床財団と協議したい。

**斜里町（結城）**：知床財団から意見等あるか。

**知床財団（高橋）**：当日受付の対応方針については検討を続けていただきたい。予約システム開設が予約開始日に間に合わなかった場合、現場で受付対応する可能性はあるか。

**斜里町（河井）**：予約システムの開設が予約開始に間に合わない可能性は否定できない。その場合、電話等の手作業で予約の受付対応をする必要がある。システム開発業者と事務局双方で予約システムの構築作業を進め、事業開始に間に合うよう尽力したい。

**斜里町（結城）**：今後検討事業開始に向け短期間で準備や広報を進める必要がある。その他質疑等あるか。

**ウトロ地域協議会（桜井）**：カムイワッカ湯の滝の景観や道中の原生林の風景を楽しむ利用者も存在する。カムイワッカ湯の滝を訪れても入浴しない利用者数を算出したデータもあるはずだ。資料2-3の予告イメージでは、利用可能期間を7月1日以降としており、「6月のご利用はできません」と注釈に記載されているが、道路の利用期間と検討事業の利用期間を混同する可能性がある。道路の利用期間は分けて明記していただきたい。またカムイワッカ湯の滝を訪れる利用者は事前に服装や持ち物を調べるはずだ。当日受付の混乱を避けるためにも事前予約に統一するべきであると考え。事前予約は利用者が希望する日時の予約残数を確認した上で、手続きに進む流れとなっているのか。

**斜里町（河井）**：検討事業開始日は7月1日であり、道路の開通は6月1日であることが明確に分かるよう記載を修正したい。当日受付の取扱いについては知床斜里町観光協会と同様の意見だと認識した。事務局で今後検討したい。予約のフローについては、希望する日時の空き状況を確認した後、オンラインで注意事項やレクチャーを確認し、手続きに進む流れを想定している。

**斜里町（結城）**：その他意見等あるか。

**知床自然保護協会（綾野）**：知床五湖のヒグマ活動期は利用日の数か月前から予約ができる仕組みになっている。予約受付の開始日を利用日の1か月前と設定したのはなぜか。

**斜里町（河井）：**予約システムの完成は早くても3か月後の6月1日と予想される。6月1日は検討事業開始日の1か月前に相当するため、受付開始日を利用日の1か月前に設定した。6月1日の予約開始日から期間中すべての予約を可能とするかは本会議で意見を伺いたい。仮予約やキャンセルの問題もある。ハワイのとある海岸では予約開始を利用日の2日前と設定し、戦略的に予約を限定している例もある。

**知床自然保護協会（綾野）：**知床五湖の既存の予約システムをベースに修正行えば、検討事業の予約システムとして活用できるのではないかと。旅行者は宿泊施設や飛行機の予約と併せてアクティビティの計画も立てる。利便性を考慮すれば、予約は2～3か月先までできる方がよいだろう。

**斜里町（河井）：**承知した。意見を踏まえ決定していきたい。

**斜里町（結城）：**その他意見等あるか。

**知床財団（山本）：**広報の開始予定日を教えていただきたい。またWebサイトは検討事業期間中も修正や改善をしながら運営していくと思うが、管理者は決定しているのか。

**斜里町（河井）：**広報開始の具体的な日程は未定だが、当会議の意見を集約し決定したい。1日も早く広報を開始する、広報開始前に地域説明会を開催する、詳細の決定を待たずにまずカムイワッカ湯の滝の利用方法が大幅に変更となる旨を早急に周知する等さまざまな広報の方法がある。事務局としては先程から議論となっている予約開始日や予約枠の設定、Webサイトの管理者等の詳細を決定次第、発信していきたいと考えている。今後10日間程度かけて知床財団や知床斜里町観光協会を中心に協議し、広報を開始したい。

**知床財団（山本）：**知床斜里町観光協会と知床財団はそれぞれカムイワッカ湯の滝の情報をホームページに掲載している。具体的な運用方法はともかく、現場としては例年と運用方法が変更となる旨を早急に周知したい。

**斜里町（結城）：**斜里山岳会から意見等あるか。

**斜里山岳会（遠山）：**特にない。

**斜里町（結城）：**愛甲氏から全体を通して意見等あるか。

**北海道大学（愛甲）：**検討事業の期間を1年延長し管理運営体制を大幅に変更したことで、来年度は検証すべき項目が増えた。広報や現場のオペレーション等は運用していく中

で不具合も発生すると思うが、利用形態を変更することは利用者の安全確保や混雑感を減少させ満足度を高めることにも繋がる。以前、カムイワッカ湯の滝1の滝の下部で利用者数をカウントするとともに、混雑感に関するアンケート調査を実施した。調査の結果、滞在人数が30名を超えると混雑感を感じる利用者が多いことが判明した。日ごとに換算すると、1日の利用者数が200名を超えると半分以上の利用者が混雑感を感じると予想される。また、知床五湖の利用調整地区制度を導入する際には、広報が重要であるとの意見が地域関係者から多くくださったと記憶している。当時と比較すると広報媒体や情報収集方法も多様化している点を考慮して進めていただきたい。

**斜里町（結城）：**全体を通して、その他意見等あるか。

**斜里町（河井）：**協力金の額は、検討事業のランニングコストを賄える設定にしたい。これまで検討事業の協力金は1,000円としていたが、価格設定が非常に低い、ブランド価値を下げるといった意見もあった。例年、知床自然センターからカムイワッカ湯の滝間のシャトルバス往復料金は1,300円としている。シャトルバス料金と協力金を統合し、シャトルバス期間外の利用者と価格を一律にすることも検討している。価格設定について意見等あるか。

**ウトロ地域協議会（桜井）：**協力金の価格はどのように算出しているのか。検討事業を継続していくためには、ランニングコストを賄うだけでなく、利用者の支払意思額やガイド利用の価格設定等も併せて包括的に決定する必要がある。ガイド事業所が利用する際の取扱いを教えていただきたい。

**斜里町（河井）：**ガイド付き利用の際はツアー料金に協力金を含める想定である。個人利用者にも受益者負担をしていただきたいと考えている。今年度のカムイワッカ湯の滝1の滝以奥再利用検討事業ではシャトルバス料金と協力金を統合し価格を2,000円に設定したが、利用者アンケートによると不満はほぼ無かった。価格設定に正解はないが、協力金の改定を複数回行うのは思わしくないため、意見等あれば本会議で集約したい。

**斜里町（結城）：**その他意見等あるか。

一同：（質疑無し）

**斜里町（結城）：**必要に応じて広報開始前に地域説明会等を行い、早急に広報を開始すべきという意見があった。検討事業開始までの短い期間で、広報や予約システムの構築等、迅速に対応する必要があるため、関係機関には協力願う。検討事業の実施計画について、提示した案で承認いただくということでよいか。



一同：（了承）

斜里町（結城）：ここで休憩を10分間はさみ、14:55から議事を再開する。

<休憩>

斜里町（結城）：それでは議事を再開する。2023年度のマイカー規制、シャトルバスの運行計画案について斜里町環境課より説明する。

### 3. マイカー規制/シャトルバスの運行計画について

資料3について斜里町（吉田）が説明

斜里町（結城）：まずカムイワッカのマイカー規制と直行シャトルバスの運行について質疑等あるか。

一同：（質疑無し）

斜里町（結城）：マイカー規制は道路交通法に基づき実施する。北海道警察の菅原係長から補足等あるか。

北海道警察（菅原）：道路交通法に基づき1か月以内であれば警察署長の許可で交通規制が可能となるため、マイカー規制期間を29日間と設定したと認識している。

斜里町（結城）：その他意見等あるか。

ウトロ自治会（米澤）：8月11日の山の日もマイカー規制期間としたのか。

斜里町（結城）：来年度のマイカー規制実施案の日程のことか。

ウトロ自治会（米澤）：今年度についてだ。山の日であった8月11日も規制対象になっていたか。

斜里町（吉田）：今年度のマイカー規制は8月6日～15日までの10日間実施した。

ウトロ自治会（米澤）：マイカー規制期間が長すぎる。私はガソリンスタンドを経営しており、観光客の入込みは近年減少していると感じている。マイカー規制期間を延長する必要があるのか疑問だ。マイカー規制期間を延長すれば知床五湖の駐車場を管理している自然公園財団の売り上げにも影響がでるだろう。マイカー規制期間を延長すること

は賛同しかねる。

**斜里町（結城）：**マイカー規制期間が長いとの意見だ。今後事務局内部で協議する必要があると考えるが、観光客の入込みは新型コロナウイルスの感染状況や海難事故の影響等さまざまな要素が絡んでいるため総合的に検討する必要があると認識している。その他ご意見あるか。

**斜里山岳会（遠山）：**今年度は10日間であったマイカー規制期間を来年度約3倍延長することを本会議で承認を得たいという認識でよいか。資料3に利用対象は「事前の手続きを行った試行事業の参加者と登山者を想定する」と記載されているが、2月に開催されたエコツーリズム検討会議では具体的な説明はあったのか。説明がされていないのであれば事前の手続きはどのようなものか、また「事前の手続き」は試行事業の参加者と登山者の両者を対象としているのか。

**知床財団（秋葉）：**2月1日のエコツーリズム検討会議では資料3の前段（1. 2022年度第2回 適正利用・エコツーリズム検討会議説明内容）に記載されている以外の詳細な説明は行っていない。日程や方法などの詳細は、当会議で協議し確定していく段取りである。資料に記載のある「事前の手続き」は、「試行事業の参加者」を対象としており、登山者に特別な手続きを求めることは想定していない。単純に、マイカー規制をすれば、シャトルバスの利用者として登山者が想定される、という意味だ。河井課長から説明があった通り、来年度はカムイワッカ湯の滝の自由利用が全面規制される。そのため事前予約をしなければマイカーでカムイワッカにアクセスしても、利用はできない。検討事業と一体的にマイカー規制を実施することで、制度を知らずに現地に行ってしまうトラブルを防ぎ、事前に利用方法を説明することができる。また知床連山を縦走する登山者からは入下山の交通手段としてシャトルバスのニーズは強い。こうした事情も考慮した提案である。まとめると、来年度以降はカムイワッカ湯の滝の自由利用が不可能になり、事前の予約や支払いが必要になる。この前提を踏まえ、制度運用を円滑に行うために車両規制を長めに行うのがよいのではないかという考えだ。ただし、期間については確定のものではなく調整が可能だと認識している。

**斜里町（結城）：**ただいまの説明に対し、斜里山岳会から再質問はあるか。

**斜里山岳会（遠山）：**事前手続きは具体的にどのようなものか。

**知床財団（秋葉）：**先程河井課長が議題2で説明した検討事業に参加する際に、Web サイトから事前に申し込みや決済を行う手続きを指している。

**斜里山岳会（遠山）：**事前手続きは検討事業の申し込み手続きであると理解した。マイカー

規制は当初より地域住民から規制期間が長すぎるといった意見が多く挙げられており、徐々に期間を短縮してきた経緯がある。斜里山岳会としては特に支障は無いが、規制期間が延長するのであれば、地域住民へ意見を聞き取るべきだ。

**ウトロ自治会（米澤）**：マイカー規制開始前の渋滞状況のデータはあるか。マイカー規制の影響でウトロへの観光客の入込みが減少することを懸念している。

**知床財団（秋葉）**：カムイワッカ湯の滝の混雑状況予測を参考資料1に掲載している。今後、社会情勢の変化により入込み状況が変動する可能性はあるが、過去4～5年のカムイワッカ湯の滝の入込み数を参考に、渋滞状況の予測を示している。お盆時期には最大で300～400台の車両がカムイワッカ湯の滝に入込むことが予測される。対してカムイワッカ湯の滝の駐車台数は約25台であるため、車両の入込みが200台を超えると駐車できない時間帯が発生し、300台を超えると日中の主な時間帯はほぼ駐車ができず、渋滞が発生すると予測される。これはあくまで過去の入込みの傾向であり、これから新しい制度や利用の制限により状況は変化すると考えられる。

**ウトロ自治会（米澤）**：終日駐車場の渋滞が予想されるのは8月11日～18日であると資料から読み取れる。マイカー規制を29日間も実施する必要があるのか。

**自然公園財団（向山）**：これまでマイカー規制は繁忙期の混雑状況を緩和するために実施されてきた。しかし今後カムイワッカ湯の滝の利用形態が大幅に変更となる。マイカー規制期間を延長することは混雑対策のためだけではないと理解している。自然公園財団は知床五湖の駐車場案内だけでなく、現地の安全管理の一部を担っていたこともある。利用者同士のトラブルが発生すると検討事業の評価にも影響するだろう。警備強化の観点でも自然公園財団は関わっていく内容だと感じている。全国旅行支援の影響もあり、10月の3連休には知床五湖の駐車場入込みが今年度最大となり、今冬の観光客の入込み数も増えている印象だ。来年度は観光入込みが増加する期待が高い。マイカー規制期間の延長にはさまざまな意見があると思うが、自然公園財団としては前向きに捉えている。

**斜里町（結城）**：その他関連して意見等あるか。

**斜里町（河井）**：米澤氏の意見に補足したい。これまでカムイワッカ湯の滝1の滝を自由に利用できる形態では現地の滞在時間は平均25～30分程度であったが、4の滝まで利用範囲が広がれば、滞在時間は大幅に伸び平均1時間10分程度になると予測している。カムイワッカ湯の滝の駐車容量は約25台であり、来年度は利用者数が増加する7月の3連休と7月下旬の週末は駐車場渋滞が発生する可能性が高い。利用形態が大幅に

変更となる初年度であり、現場の混乱を最小限に抑えるためにシャトルバスの運行期間を延長したいと考えている。また事務局が提案したシャトルバス期間に混雑が予想される7月の3連休は含まれていない。マイカー利用による駐車場の混雑状況を調査しながら、シャトルバスの運行体制を検討したい。シャトルバスを運行するためには1日約20数万円費用がかかるため、マイカー規制を実施しない方がよい可能性もあるが、シャトルバスに満足する利用者もいれば、マイカーでカムイワッカを訪れたい利用者もいる。最適なバランスを検討していきたいが、来年度は提案した期間で実施することを理解いただきたい。

**斜里町（結城）**：米澤氏からその他意見等あるか。

**ウトロ自治会（米澤）**：先程、意見を申したので問題ない。

**斜里町（結城）**：路線バスの増便事業について、斜里バス下山氏から意見等あるか。

**斜里バス（下山）**：7月の路線バス増便事業は、例年1台機材を追加して実施しているが、8月は何台増便する想定か。

**斜里町（吉田）**：8月も7月と同様にバスを1台追加して実施する想定だ。

**斜里町（結城）**：次に将来ビジョン、マイカー規制、カムイワッカ園地のあり方に関する計画策定について意見等あるか。

一同：（質疑無し）

**斜里町（結城）**：2023年度のマイカー規制/シャトルバス運行計画（案）について承認いただくということでしょうか。

一同：（了承）

**斜里町（結城）**：詳細については、今後関係機関と調整を進める必要があるため、協力願う。  
次に知床ディスタンスキャンペーンの今後の取り組みについて環境省より説明願う。

#### 4. その他事業の予定について

資料4について環境省（山田）が説明

**斜里町（結城）**：今後新規に取り組む事項もあり、関係機関、団体には積極的に協力いただきたい。資料4について質疑等があるか。

**知床自然保護協会（綾野）**：ヒグマを追い払うために車の窓を開けて大声を出し、他の利用者に向かってヒグマが走っていくという事例があった。今後ディスタンスカードを増刷する予定があれば、知床五湖に車両で来園した利用者に配布している葉に、車の中から大声を出さない、大声でヒグマを興奮させないよう注意を促す文言を付け足していただきたい。

**環境省（山田）**：葉には「窓を閉めて車の中にいよう」という文言を掲載している。大声を出さないという趣旨を付け加えられるか今後検討したい。

**斜里町（結城）**：その他意見等あるか。

**北海道大学（愛甲）**：ヒグマワーキンググループの委員として意見を述べさせていただく。第2期知床半島ヒグマ管理計画では利用者の問題行動に起因する危険事例の発生件数を1年間で19件以下に抑制することを目標としているが、近年目標は達成できていない。危険事例の件数を減らすために、知床ディスタンスキャンペーンは非常に重要な取り組みだと認識している。ホロベツ地区からのマイカー規制とシャトルバスの運行事業は、ヒグマと人間の軋轢を減らすことが目的の一つであった。来年度は過去3年間の事業実績の効果検証と今後の計画策定について検討を行うこととしているが、知床ディスタンスキャンペーンの取り組みと合わせて検証していただきたい。また非意図的に問題行動をとるライト層を普及啓発のターゲットとすることはもちろんだが、行政処分対象となる悪質な問題行動を起こす利用者にも普及啓発を行い、問題行動を減らしていく必要がある。

**斜里町（結城）**：愛甲氏よりヒグマワーキンググループの目標も踏まえて、ディスタンスキャンペーンは非常に重要な取り組みだという意見をいただいた。環境省から意見等あるか。

**環境省（家入）**：意図的に悪質な問題行動を起こす利用者は、知床ディスタンスキャンペーンの普及啓発だけでは対処が難しい。そのためターゲットはライト層に定め、悪質な問題行動をする利用者は行政処分も含めて対応を検討している段階だ。

**斜里町（結城）**：その他意見等あるか。

**知床自然保護協会（綾野）**：ヒグマによる人身事故を未然に防ぐ取り組みは非常に重要である。ヒグマに対する接近や問題行動の抑制は、環境省だけでなく警察へ協力を依頼してはどうか。

**環境省（家入）**：自然公園法が改正され、特別地域内での「野生動物への餌付けや接近」が

規制行為となった。これは、安全対策の観点だけではなく、国立公園の利用に支障が生じることが問題となっている。人がヒグマに接近することで、ヒグマの人馴れが進み、問題行動を誘発する恐れがある。問題行動の内容によっては歩道や施設を閉鎖する必要があり、環境省も無関係ではない。行政処分の対象となる場合は刑事罰も課されるため、斜里警察署と合同で対応することになっている。

知床自然保護協会（綾野）：承知した。

斜里町（結城）：知床ディスタンスキャンペーンの今後の取組みについて承認をいただくということでよいか。

一同：（了承）

斜里町（結城）：続いて2023年度カムイワッカ地区の全体スケジュールについて説明する。

## 5. 2023年度カムイワッカ地区全体スケジュール

資料5について斜里町（結城）が説明

環境省（井村）：前回会議で斜里山岳会より登山者数について質問があったため、知床硫黄山の登山利用について補足する。今年度の知床硫黄山の登山者数は6月86名、7月241名、8月174名、9月161名、10月は供用期間が2日間であったため2名、年間通しての合計人数は664人であった。検討事業は知床硫黄山の登山者に配慮しつつ進めたい。7月はシレットコスミレの開花時期であるため登山者数が増えているのではないかと考える。

## 6. その他（1）カムイワッカ部会設置要綱の改正について

資料6について環境省（井村）が説明

斜里町（結城）：カムイワッカ部会設置要綱改正について質疑等あるか。

ウトロ自治会（米澤）：構成団体一覧にウトロ地域協議会の記載がないため確認いただきたい。

環境省（井村）：事務局で確認したい。

斜里町（結城）：確認を行い、後日共有するというのでよいか。

ウトロ自治会（米澤）：承知した。

斜里町（結城）：その他意見等あるか。

斜里山岳会（遠山）：カムイワッカ湯の滝へ向かう道道の閉鎖ゲートはカムイワッカゲートと認識していたが知床五湖ゲートという名称なのか。

斜里町（河井）：知床五湖とカムイワッカ湯の滝の分岐地点のゲートを知床五湖ゲート、カムイワッカ橋過ぎた地点に設けられたゲートをカムイワッカゲートと呼称している。名称が変更となっている可能性があるため確認したい。

斜里町（結城）：構成団体については、事務局で改めて確認を行うが、設置要綱の改正案については承認をいただくということよいか。

一同：（承認）

斜里町（結城）：事務局で用意した議事は以上である。その他意見等あるか。

斜里警察（菅原）：斜里山岳会よりマイカー規制期間について先程意見があった。来年度のマイカー規制期間は変更するのか。

斜里町（結城）：マイカー規制の実施計画は当会議で承認を得たと認識している。

斜里警察（菅原）：承知した。

知床財団（山本）：検討事業の実施計画とマイカー規制/シャトルバスの運行計画が当会議の大きな議事であり、非常に重要な事項が決定したと認識している。来年度は事前予約制を導入した上で、これまで利用が規制されていたカムイワッカ湯の滝上部区域の利用が可能となった。従来のマイカー規制は混雑緩和のため1週間程度実施していたが、利用形態に合わせて規制期間を延長した。規制という言葉は消極的な印象を受けがちだが、マイカー規制期間の延長は利用形態に合わせたサービスの一環であると認識している。現場としては事前に詳細な情報を公開して利用者の理解を得られれば、マイカー規制を実施しても満足度は下がらないと感じている。今後、検討事業開始まで短期間で準備を進めていく必要があるが、より良いサービスを提供するためにはまず広報を迅速に行うことが前提条件だ。

斜里町（結城）：その他意見等はあるか。

**ウトロ自治会（米澤）**：再度申し上げるが、マイカー規制期間を延長することは反対だ。ウトロ自治会として承認しかねる。地域説明会を開催し、意見を収集した上で決定していただきたい。

**斜里町（結城）**：地域説明会の内容はカムイワッカの利用形態の変更についてか、マイカー規制期間の延長についてか。

**ウトロ自治会（米澤）**：マイカー規制期間についてだ。

**斜里町（河井）**：対象者は自治会の役員か、地域住民か。

**ウトロ自治会（米澤）**：地域住民だ。

**斜里町（河井）**：来年度はカムイワッカ湯の滝に入渓できるのは1日210名に制限せざるを得ず、滞在時間はこれまでと比較すると1.5～2倍に伸びるはずだ。カムイワッカ湯の滝に入渓しない利用者も来訪するため、これまで以上に駐車場渋滞が発生することが予測される。アクセス方法が問題となるが、利用者や現場関係者の混乱を防ぐために、シャトルバスを運行させたいと考えている。マイカー規制期間の延長は来年度のカムイワッカ湯の滝の利用形態に深く関連している。迅速に広報を進めなければならない状況下で、再度議論する場を設けることは容易ではない。

**知床財団（山本）**：事前予約をしていない利用者はマイカーで現地に到着してもカムイワッカ湯の滝に入渓できない。不満を抱いた利用者の対応に現場職員が追われることが予想される。検討事業は、落石の危険性が指摘された下部区域を事業の対象に含め、制限を設けることでカムイワッカ湯の滝の全面閉鎖を回避する取り組みであると認識している。カムイワッカ湯の滝は駐車場容量が小さいため、例年7月下旬から8月中旬にかけて渋滞が発生し現場が混乱する。事前予約をしたにもかかわらず、駐車ができないとなれば、各現場でクレームの対処をしなければならない。現場の運用を担う知床財団としては、少なくとも混雑期はシャトルバスを運行していただきたいと考えている。

**ウトロ自治会（米澤）**：事前予約をした利用者はシャトルバスで現地に向かうのではないのか。カムイワッカ湯の滝に入渓しなければ、滞在時間は短いため駐車場の渋滞はそれほど発生しないのではないか。

**知床財団（山本）**：来年度はカムイワッカ湯の滝に入渓する利用者は1時間以上現地に滞在すると予測される。検討事業の利用者がマイカーで来訪すれば、駐車場渋滞は避けられない。



**ウトロ自治会（米澤）**：事前予約の利用者はシャトルバスに乗車するのではないかと。

**知床財団（山本）**：マイカー規制が実施されればその通りだが、マイカー利用となれば駐車場渋滞が予測される。

**ウトロ自治会（米澤）**：本会議で初めてマイカー規制期間が延長されることが説明された。来年度のカムイワッカ湯の滝を利用するためには条件があることはわかるが、地元の意見を聞いたうえで承認を求めべきだ。

**斜里山岳会（遠山）**：マイカー規制期間短縮の可能性も考慮し、地域説明会を開催して地元から了承を得て規制期間を決定してはどうか。地元住民への説明は必要であると考えられる。

**斜里町（結城）**：遠山氏の意見を踏まえ、マイカー規制期間の短縮の可能性も含めて地域説明会を開催するという事によいか。

**斜里町（河井）**：本会議では条件付きで承認いただき、地域説明会を行うこととする。全員の賛成を得られるかは分からない。1人でも反対がいたら成立しない、といった事態は避けたい。

**ウトロ自治会（米澤）**：そういった事は言っていない。

**斜里町（河井）**：承知した。説明会の開催については調整をさせていただきたい。前会議でも申しあげたが、今年度のカムイワッカ湯の滝の入込み実績は約35,000名であったが、来年度は人数制限のため最大で15,000名程度しか立ち入ることはできず、利用者の減少は避けられない。カムイワッカ湯の滝に入浴できなくても道中の風景や滝の景観を楽しむことで利用者が満足するかどうかはデータを収集しなければわからない。来年度は検討事業を実施しなければ、カムイワッカ湯の滝を全面閉鎖しなければいけないことを理解いただきたい。

**ウトロ自治会（米澤）**：景勝地の一つである知床大橋を再び利用できるようにもう少しスピード感を持って、工事を進めていただきたい。閉鎖区間の道路が開通すれば駐車場のスペースも増えるだろう。

**北海道（塩見）**：落石対策の柵を設置している工事箇所については来年度には工事完了を予定しており、予算配当も概ね決定している。過去に岩が露出している箇所に網を張り落石を防止する工事を行ったが、その網が経年劣化しているため、今後追加の補修工事を検討している。そのため道路開通については日程を検討中だ。次回会議にて経過を説明

したいと考えている。

**斜里町（結城）**：マイカー規制とシャトルバス運行の計画については、改めて一部条件付きで承認をいただくということでしょうか。

一同：（了承）

**知床財団（高橋）**：従来通りマイカーでアクセスするか、検討事業の利用形態に合わせてアクセス方法を見直し魅力を向上させていくか、という対極的な2つの方向性を議論し合意を得ていかなければならない。カムイワッカ湯の滝の利用形態とアクセス方法は決して異なる議論ではなく密接に関連していると考えている。地域説明会ではマイカー規制期間の延長についてだけではなく、今後のカムイワッカ湯の滝の利用のあり方についての説明も必要だと感じる。本会議ではそういった共通理解が不足し、知床財団としても従来から伝えてきたものが理解を得られていなかったと反省しているところだ。

**斜里町（結城）**：改めて全体的なカムイワッカ湯の滝のあり方の議論を深めていくべき時期だと認識した。その他意見等はあるか。

一同：（質疑無し）

**斜里町（結城）**：本日の議題は以上だ。マイクを進行へ戻す。

**環境省（井村）**：条件付きではあるが、承認いただいたと理解している。今後の予定は事業開始に向け早急に準備を進め、地域説明会の詳細は決定次第周知したい。6月にカムイワッカ地区利用適正化対策協議会を開催し、事業を本格運用していく予定だ。以上で第19回カムイワッカ部会を閉会とする。

以上